

裏面白紙

昭和二十一年三月二十五日

秘書課長

事務官

大臣

次官

總務課長

會計課長

伺

別府引揚接護局ヲ廢止ニ名古屋引揚接護局設
置ニ関シ別紙ノ通告知示相成可然哉
仰高裁

四
次

裏面白紙

別紙

石子生省告示第三十九號

昭和二十一年三月三日
石子生省告示第三十四號（地方引揚接護局ノ名称
及位置ノ件）中左ノ通改正ニ
昭和三十二年三月十五日ヨリ
之ヲ適用ス

昭和二十七年三月十九日

石子生 大 臣

「別府引揚接護局 大分縣別府市」ヲ削リ「唐津引揚接護局」
ノ次ニ左ノ如ク加フ

○名古屋引揚接護局 愛知縣名古屋市

官
印
三
年
三
月
三
日

裏面白紙

別紙

↑ 百子生省告示第三十九號

昭和三十一年三月三日
百子生省告示第三十四號（地方引揚接護局ノ名称
及位置ノ件）中左ノ通改正ニ
昭和三十二年三月五日ヨリ
之ヲ適用ス

昭和三十一年三月十九日

百子生 大 陸

↑ 別府引揚接護局 大分縣別府市ノ次ニ左ノ如ク加フ

↑ 名古屋引揚接護局 愛知縣名古屋市中

官公署
昭和三十一年三月三日

引継ぎ處理ノ爲メ日本ニ於ケル受人事務所ニ關スル件（後編）

一九四六年三月十九日指令

一、聯合車政最高司令部ヨリノ次ノ電書ヲ照

A 上海主題ノ一九四六年一月二十三日附電書

B 上海主題ノ一九四六年三月十三日附電書

C 上海主題ノ一九四五年十一月十七日附電書

二、一ノAノ條項ハ別府ニ關スル限リニ於テ、一ノBノ條項ハ廢テ之ニ取用ス

ニ名古屋ニ受人事務所カ開設セラルベシ 別府ノ受人事務所ハ且ニ閉鎖シ、現

任別府ニ配給計畫ノ引継ぎ送給ニ受人ル、爲補償ニ利用スル計畫ナリ

三、日本政府ハ左ノ事項ニ對スベシ

A 速ニ上海一ノCノ規定ニ從ヒ名古屋ニ受人事務所ニ設置シ且運営ス

ルコト 石受人事務所ハ一九四六年四月七日以後毎日引継ぎ者五〇〇人ニ

受人ルベク準備スベキモノトス

B 一九四六年三月二十五日及 其後四日毎ニ左ノ事項ニ當テ名古屋受人事務所

所ニ關スル周知ナル報告ニ提出スルコト

四、受人事務所ノ準備ノ進捗状況

一、元取見込月日

二、準備ニ阻害シ又ハ遅延セシムル事由

C 別府ノ受人事務所ニ閉鎖スルコト

G 日 電 トノ 連絡

三月十九日

一、開門八〇〇名、取道船送。各艇トスル司令船G 三乗（「ハウエル」入佐カ本日午後「ブローマ」代府ノ停航。船タリトシテ内示セラルセ、日本政府ニ對スル指令ハ明日發マフルベント）

二、別府船ノ使用ハ直ナニ之ニ致シス（即チ別府ニハ一艇七人レス）

三、別府船ニ人ル古ノ「リバアイ」ハ之ニ浦留ニ過ス（一日四五〇〇人）

四、上海一博多間航航ノ「L S T」毎日一隻。浦留ニ過ス（一日一五〇〇人）

五、其ノ間名古。安人船トシテ主船會場ノ完成後ハ浦留ニ人ル「リバアイ」之ニ過航ス

六、右ノ要更ハ取道船送刀ノ不丹ノ編付ヲセ、ニシテ日本政府カ別府ノ警備ニ忌リタルセ、ニアラス此ノ點明候ニ取道キ度シ

六、別府ニ人ル古ノ「リバアイ」ニ浦留ニ過ス結果船體カ延ビ用又ノ引渡カ遅レル場合ニハ上海一博多間航航ノ取道ナル九隻ノ「リバアイ」ノ一部ニ浦留ニ過スコトニ考慮ス。

七、右ニ依リ九州ヨリ取道ニア本州ニ船送スルニ安ムル引渡式ノ取ハ約ヒ八〇トナル

662

裏面白紙

引揚後護院卷之三

昭和三十二年三月二十二日

引揚後護院後護局長



厚生大臣官房秘書課長 啟

地方引揚後護局ノ設置迄ニ廢止ニ関スル件
標記ノ件ニ関シ厚生省告示別紙ノ通改正方可知御取計
相成度

裏面白紙

◎厚生省告示第三十九號

昭和二十一年三月三十一日
厚生省告示第三十四號（地方引揚後援局ノ名稱
及位置ノ件）中左ノ通改正シ昭和二十一年三月二十六日ヨリ之
ヲ適用ス

昭和二十一年三月二十九日

厚生大臣 菅田 均

「州府引揚後援局 大分縣州府市」ヲ削リ「唐津引揚後援局」

ノ次ニ左ノ如ク加フ

名古屋引揚後援局 愛知縣名古屋市

664